

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	森田 陽一			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3315		事務事業名称	地域排水整備事業							短縮コード	経常		臨時	3315	
予算区分	会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	03	河川費		目	02	河川改良費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		河川法，国有財産法，地方自治法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
降雨時溢水災害等が発生した場合や道路排水の処理の必要性が生じた時より，排水施設整備を行う。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
災害の発生箇所は，開発行為などで状況が変化すると生じる場合があり，現在，把握している箇所を整備すれば完了という事にはならない。毎年，どこかしら新しい要整備箇所が発生している。							大項目（節）	01	市民の安全							
							中 項 目	01	防災							
							小項目（施策）	03	都市防災対策の推進							
							細 項 目	01	都市防災構造の強化							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	雨水排水施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 雨水排水施設の整備						
	※平成20年度に計画していること： 雨水排水施設の整備						
意図 （何を狙っているのか）	雨水排水施設の整備						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	要整備箇所	箇所数	8	5	3	7
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	整備箇所	箇所数	3	1	3	7
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	整備率	%	38	20	100	100
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3315	事務事業名称	地域排水整備事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			要望どおり排水整備が進まないが，少しでも市民要望に応えられるよう今後も努力していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業を継続するに当たり，経費・成果共に不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業内容が災害に直接関わることであり，要望は切実である。									

所属長コメント	水害の解消に向けて，今後も事業を継続する必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									